

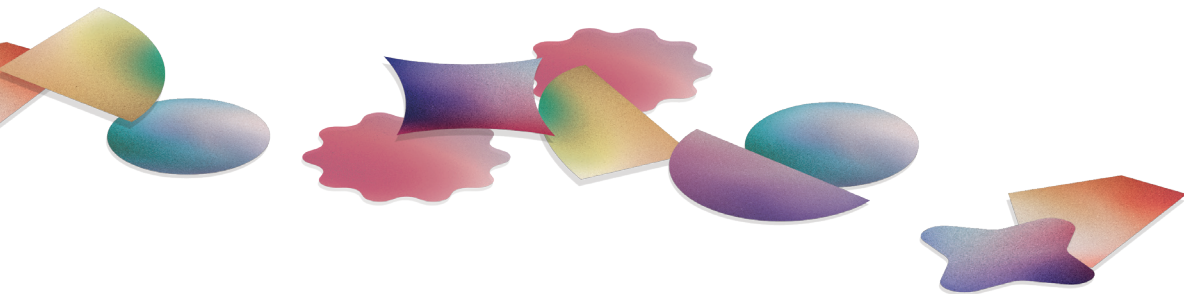


産総研グループ

# 「ためす」を もっとカンタンに。

AISol知財サブスク

# INDEX



- 01** AISol知財サブスクとは？
- 02** こんなお悩みありませんか？
- 03** AISol知財サブスクのメリット
- 04** どんな知財があって、どうやって探すの？
- 05** AISol知財サブスクプログラムの年会費
- 06** ご利用の手続き
- 07** 産総研以外の研究機関・大学の知的財産も  
研究・開発目的に利用できる「AISol知財サブスク」

## 01 AISol知財サブスクとは？



「AISol知財サブスク<sup>※</sup>」とは、  
産総研の知的財産を定額の年会費で  
研究・開発目的に利用できるサービスです。

産総研の研究成果を手軽にお試しいただき、  
課題解決と商品化を加速し、経費を削減します。

※事業化の際は別途有償の商用ライセンス契約が必要です。

## 02 こんなお悩みありませんか？

イノベティブな製品開発をしたいが、  
これまで培ってきた自社のノウハウや  
技術だけでは立ち行かない

技術コンサルティングや  
共同研究プロジェクトで  
協働できるパートナーがほしい

自社の得意領域や  
技術領域以外の  
知見が乏しく相談相手がほしい

優秀な研究人材の  
雇用や育成に  
時間と費用がかかる

自社では保有していない  
領域の技術を  
ためしてみたい

研究・開発をいちから  
開始しては  
競合他社との競争に勝てない

技術移転契約に  
時間をかけずに、  
スピード感がほしい

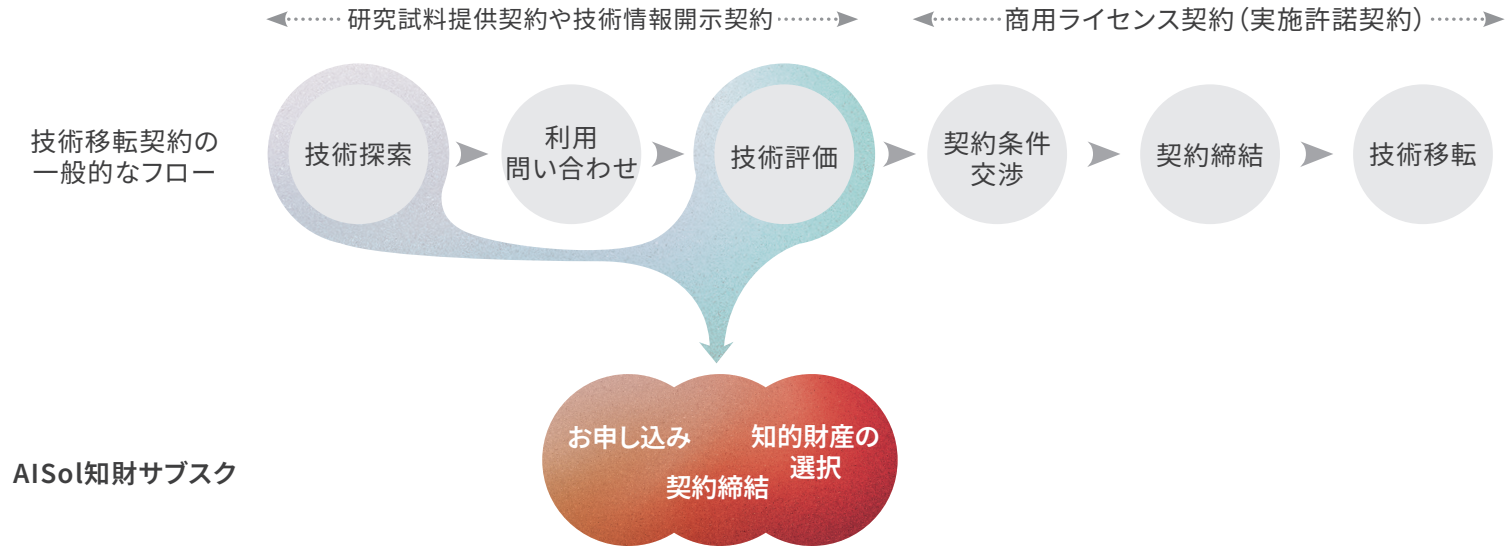


### 03 AISol知財サブスクのメリット



※1 別途契約が必要

## 03 - 1 AISol知財サブスクのメリット



### 知財ごとに契約する煩わしさから解放される

これまで研究試料や技術情報ごとに、1件1件個別に対価を協議して契約調整していたところ、AISol知財サブスクを利用することで、以後、同様の契約手続きを行う必要がなくなります。

## 03 - 2 AISol知財サブスクのメリット

AISol知財サブスクプログラムは、企業が自社技術の延長だけで未来を描くことが難しくなったときこそ、有効な選択肢です。

例えば、自動車産業のEVシフト、自社の主力事業の終焉、材料開発や製品設計における実験からシミュレーション・AI活用への転換など、業界の構造転換に直面している今こそ、「気軽に産総研の技術を試せる」仕組みが、次の製品・次の事業の起点になります。



エネルギー・環境  
領域



生命工学  
領域



情報・人間工学  
領域



材料・化学  
領域



エレクトロニクス・製造  
領域



地質調査  
総合センター



計量標準  
総合センター

### 畑違いの技術をすぐに試せる

7領域の技術や知見(7領域全てか、特定1領域を選択可能)を気軽にお試しいただけます。これにより、自社だけでは持ち得ない知的資産にアクセスでき、イノベーションの初動スピードが劇的に向上します。

※技術ゾーンは変更される可能性があります。

### 03 - 3 AISol知財サブスクのメリット

自社にない技術領域の研究開発を始めるには、研究体制整備・人材育成・設備投資が必要ですが、ゼロから研究チームを立ち上げ、人を採用し、育てながら進めるのでは時間がかかります。

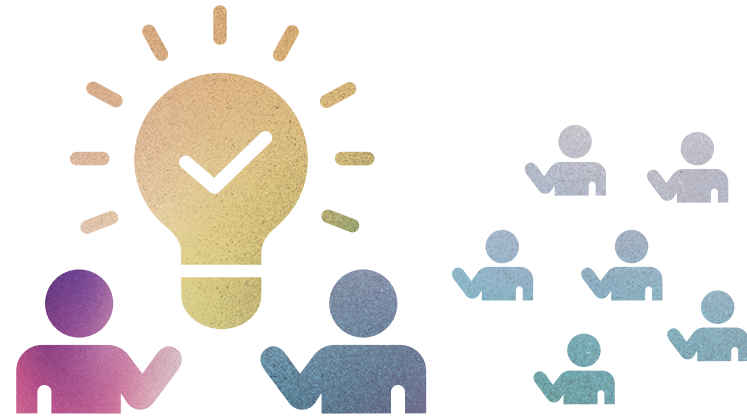


#### 基礎研究・人材育成の “時間”と“コスト”を削減

新規技術探索には無数の実験と失敗が前提になりますが、産総研の研究者の試行錯誤の結果として得られた研究成果を利用することで、「まず試す」段階でのコストと時間を大幅に節約することができます。

## 03 - 4 AISol知財サブスクのメリット

AISol知財サブスクでお試しいただいた技術を利用した商品開発の可能性を検証される際には、産総研の研究者による技術コンサルを受けていただくことにつき、ご相談に応じます。

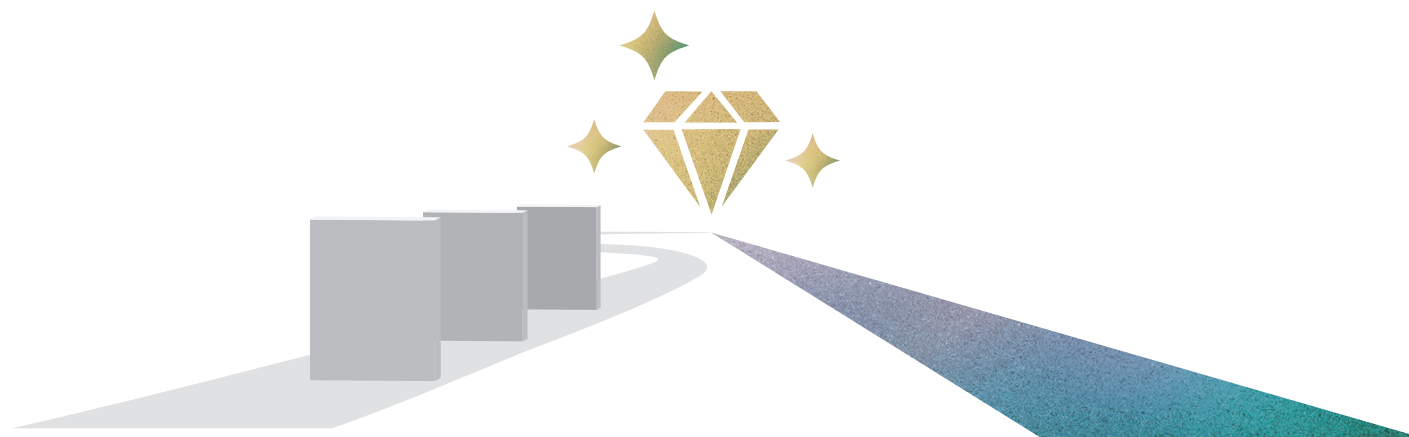
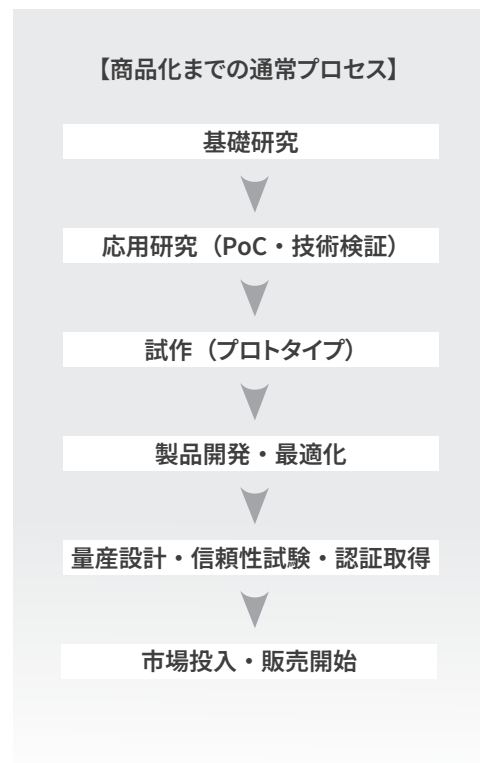


### みつけた技術の商品化につき 産総研のコンサルを受けたい

単なる技術の味見にとどまらず、気に入った技術について相談を希望される場合には、産総研の研究者による技術コンサルティングを受けていただくことについてもご相談に応じます。

※別途有償の技術コンサル契約を締結していただきます。

## 03 - 5 AISol知財サブスクのメリット



### 産総研との共同研究で 商品化までの道のりを短縮

商品化に向けた技術的な課題の解決を、産総研の研究者との共同研究でおこなうことについても、ご相談に応じます。

※別途共同研究契約を締結し、共同研究費用のご負担をいただきます。

## 03 - 6 AISO知財サブスクのメリット

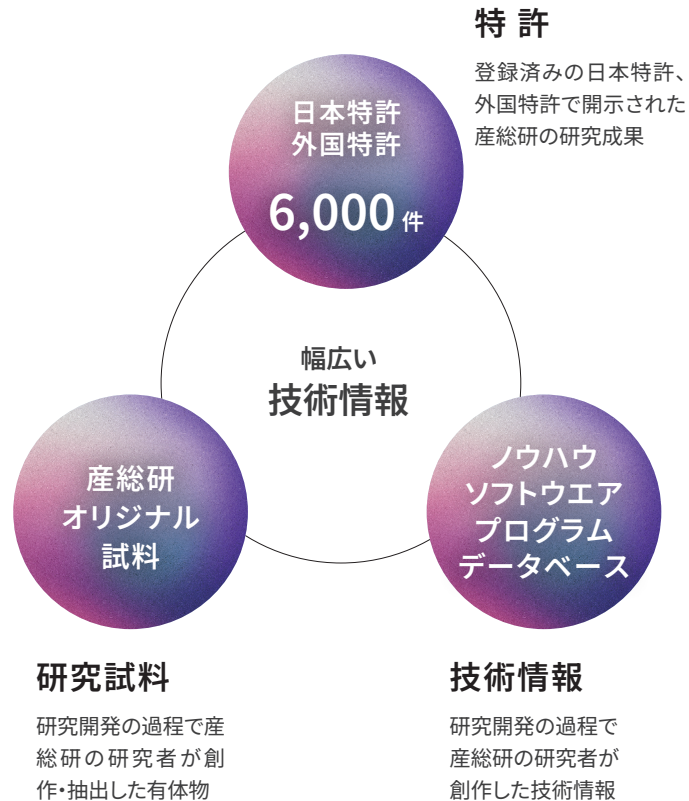


### 産総研の技術に関する知財の 商用ライセンスを取得して、商品化

産総研の技術を導入して商品化される場合は、関連知財の商用ライセンスについてもご相談に応じます。

※別途有償の商用ライセンス契約を締結していただきます。

## 04 どんな知財があって、どうやって探すの？



サブスク会員は、貴社のビジネス（ニーズ）と産総研の技術（シーズ）をつなぐ探索ツールとして「Bibbidi（ビビディ）」をご利用いただけます。

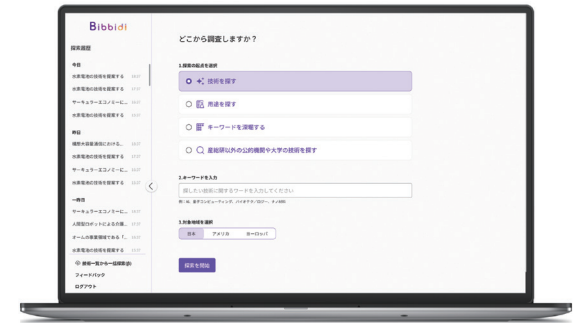
「Bibbidi」は、産総研が保有する約15万件の技術データベースと、ストックマーク社のナレッジグラフやハルシネーション抑止などの先端生成AI技術を組み合わせた、産学連携型のオープンイノベーション支援プラットフォームです。

生成AIによる高精度なマッチングにより、ビジネスアイデア（ニーズ）から最適な技術（シーズ）を探索できるほか、保有技術を起点に新たな事業機会を見出すことも可能です。

※産総研以外の研究機関・大学の知的財産の追加検討中

# Bibbidi

## オープンイノベーション特化 生成AIプラットフォーム



- 産総研が保有する **約15万件** の技術情報を搭載
- 最先端生成AIで **ビジネス** と **技術** を高精度に接続
- ナレッジグラフで産学の **言語ギャップ** を解消

## 05 AISol知財サブスクプログラムの年会費<sup>※1</sup>

### ● 研究領域ごとのサブスク

会員企業の年間売上高(全世界) <sup>※2</sup>	年会費 <sup>※1</sup>	割引額の上限
5億円未満	20万円	10万円
5億円～100億円未満	50万円	25万円
100億円～1,000億円未満	100万円	50万円
1,000億円～1兆円未満	250万円	125万円
1兆円～3兆円未満	500万円	250万円
3兆円～15兆円未満	750万円	375万円
15兆円～30兆円未満	1,000万円	500万円
30兆円～	5,000万円	2,500万円

※1 年会費は変動する可能性があります。4月から翌年3月までの年度単位です。年度途中でのご加入の場合は日割り計算します。また、提供する試料の作成や技術コンサル等の経費は別途会員にご負担いただきます。

※2 前年度売上高に基づき算出。

### ● 全ての研究領域のサブスク

会員企業の年間売上高(全世界) <sup>※2</sup>	年会費 <sup>※1</sup>	割引額の上限
5億円未満	40万円	20万円
5億円～100億円未満	100万円	50万円
100億円～1,000億円未満	200万円	100万円
1,000億円～1兆円未満	350万円	250万円
1兆円～3兆円未満	700万円	500万円
3兆円～15兆円未満	1,500万円	750万円
15兆円～30兆円未満	2,000万円	1,000万円
30兆円～	1億円	5,000万円

### ● 年会費の優遇<sup>※</sup>

- 産総研Grとの共同研究パートナー(技術コンサル、受託研究含む)
  - 冠ラボ設置中企業 30%割引
  - 過去2年間に総額2億円以上資金提供 20%割引
  - 過去2年間に総額1億円以上資金提供 15%割引
- AISol・知財イノベーション・エコシステムプログラム参加者 15%割引
- AISolの知財業務支援サービスのクライアント 10%割引
- AISolが支援する研究成果活用型スタートアップ 10%割引

※年会費の優遇内容は変動する可能性があります。  
 ※上記1～4の2つ以上に該当する場合は合算し割引。

### ● 商用ライセンス条件の優遇<sup>※1</sup>

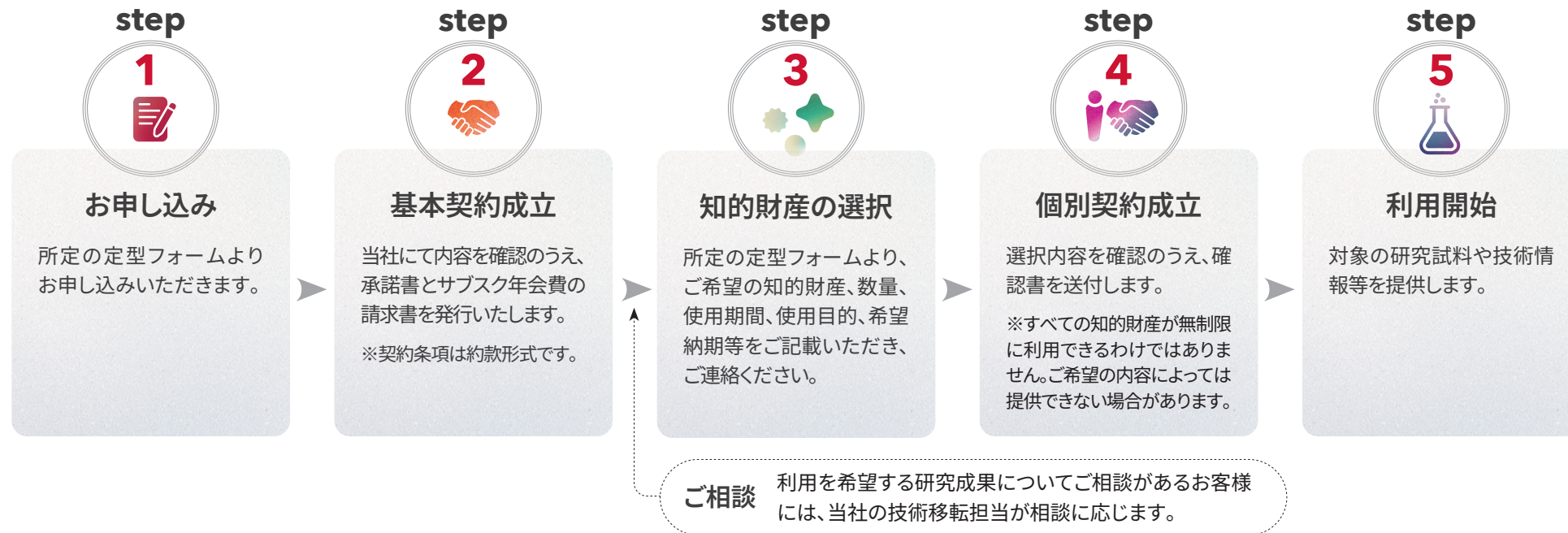
サブスク会員には、AISolの商用ライセンス料に以下の割引を適用します。

- 商用ライセンス料から過去5年間に支払ったサブスク年会費の総額の2倍相当額を上限に減額します。
- 所定の年会費に加算して任意の年会費をお支払いいただけます。
- 商用ライセンスの契約締結時にサブスク会員を継続していることが条件です。
- 商用ライセンス料の25%相当額を減額の上限<sup>※2</sup>とします。

※1 ライセンス条件の優遇内容は変動する可能性があります。

※2 年間売上高30兆円以上の会員の上限は40%相当額となります。

## 06 ご利用の手続き



※AISolが再実施許諾できる産総研の知財が対象になります。

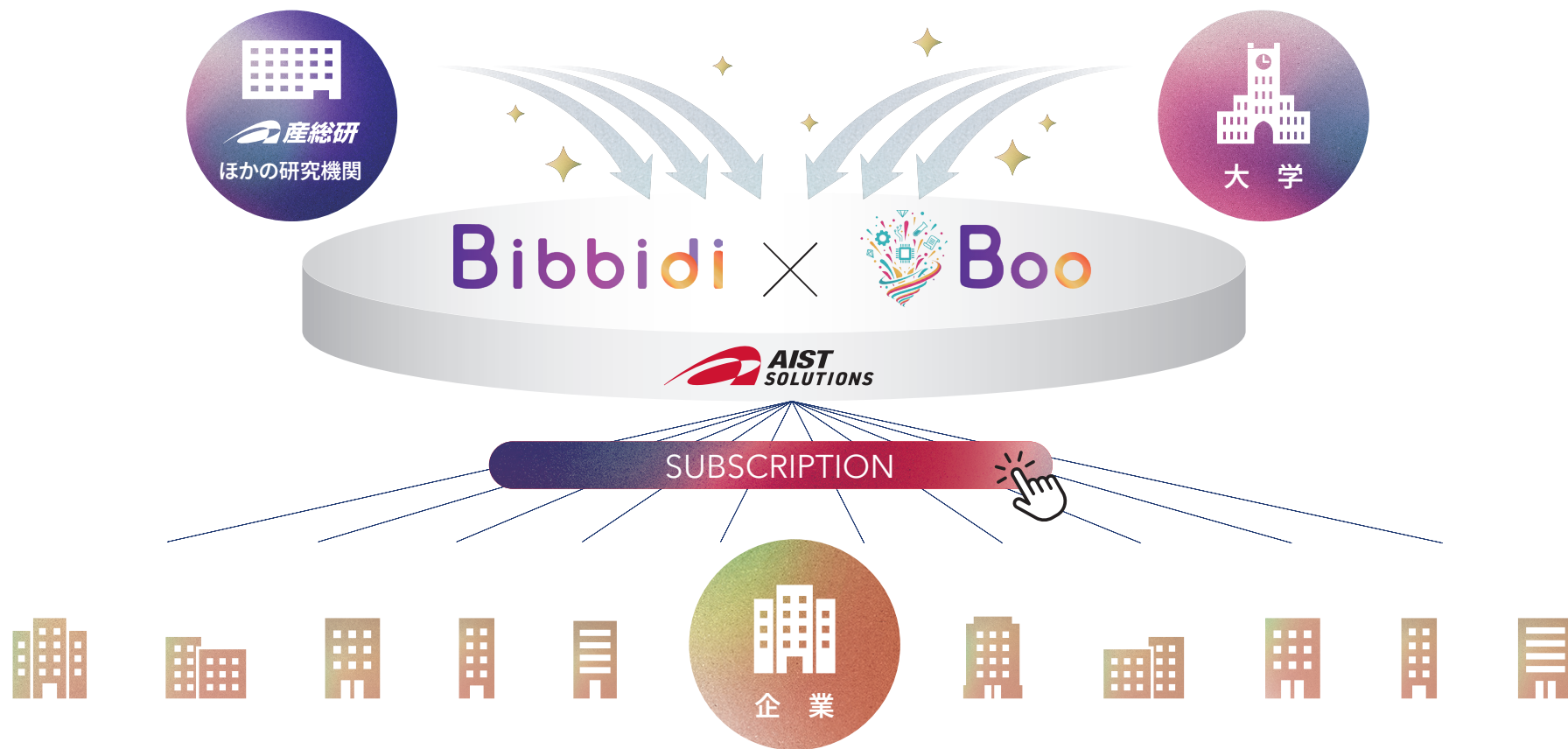
※既に標準の個別契約条件が確立している知財は除外されます。

※個別の知的財産の利用に関しては、数量、使用期間、使用目的のほか、安全保障上の観点などから、お客様のご希望に沿えない場合がございます。予めご了承ください。

※本サブスクは研究・開発目的で利用可能です。商品上市後の商用利用時には、別途商用ライセンス契約が必要となります。

# 07 産総研以外の研究機関・大学の知的財産も 研究・開発目的に利用できる「AISol知財サブスク」

*Looking Ahead....*





お問い合わせ：株式会社 AIST Solutions  
知的財産本部 知財戦略渉外部  
ecosystem-ml@aist-solutions.co.jp

公式HP：<https://www.aist-solutions.co.jp/contact/form.html>